

令和6年度実績(日本電気株式会社(NEC))

日本電気株式会社
(NEC)

No.	連携項目	連携事業名	実施時期	連携・協力内容	関係課、担当課	連携企業
1	(4)ワーケーションの推進に関すること	企業版ふくしまぐらし。体験事業	令和6年9月19日～22日	県内でテレワークをして、地域のキーパーソンとの交流、復興スタディ等を行う地域交流型ワーケーションを実施	ふくしまぐらし推進課	日本電気株式会社(NEC)
2	(4)ワーケーションの推進に関すること	企業版ふくしまぐらし。体験事業	令和6年11月27日～30日	県内でテレワークをして、地域のキーパーソンとの交流、復興スタディ等を行う地域交流型ワーケーションを実施	ふくしまぐらし推進課	日本電気株式会社(NEC)
3	(4)ワーケーションの推進に関すること	企業版ふくしまぐらし。体験事業	令和7年1月30日～2月2日	県内でテレワークをして、地域のキーパーソンとの交流、復興スタディ等を行う地域交流型ワーケーションを実施	ふくしまぐらし推進課	日本電気株式会社(NEC)
4	(4)ワーケーションの推進に関すること	企業版ふくしまぐらし。体験事業	令和7年1月21日～1月25日	県内でテレワークをして、地域のキーパーソンとの交流、復興スタディ等を行う地域交流型ワーケーションを実施	ふくしまぐらし推進課	日本電気株式会社(NEC)
5	(1)デジタル変革(DX)の推進に関すること	NECプロボノイニシアティブ	令和6年9月～	2024年9月、NECグループ社員6名が、移住者や地元企業と訪日インバウンド需要や企業向け自然体験研修をテーマとした対話交流を福島県福島市および田村市で実施。 そこで得られた福島県の課題やニーズを踏まえ、2025年1月よりNECグループ社員12名が、田村市の株式会社Shiftが運営するローカルメディアのコンテンツやイベントの企画運営を支援するプロボノ活動を開始。	ふくしまぐらし推進課	日本電気株式会社(NEC)
6	(3)次世代育成の支援に関すること	「NEC Future Creationプログラム」	令和6年11月～令和7年2月	県立須賀川桐陽高等学校の1学年の生徒及び県立喜多方高等学校の2学年の生徒たちが、身の回りの問題を科学技術によって解決することについて、自らアイデアを考え、NECグループ社員とともにアイデアをブラッシュアップし、次のアクションへの手立てとした。	高校教育課	日本電気株式会社(NEC)
7	(1)デジタル変革(DX)の推進に関すること	福島県、NEC、株式会社福島県中央計算センターの若手社員・職員によるDX推進に向けたディスカッション	令和7年1月	福島県、NEC、株式会社福島県中央計算センターとともに、若手社員・職員の交流会を実施。三者でグループディスカッションを行い、異なる立場のメンバーそれぞれの視点で、現在の行政の課題、県民サービスや業務効率化についての提言や解決策など、DX推進に向けた活発な意見交換を実施。	企画調整課	日本電気株式会社(NEC)
8	(2)県産品の振興及び風評払拭・風化防止に関すること	NECグループ3.11Initiative(ふくしま応援アクション)	令和7年2月～3月	福島県が実施する「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」広報隊に参画する1,500名以上のNECグループ社員を中心に、福島県と社員との対話、日本橋ふくしま館等と連携したオンラインでの「ふくしま応援マルシェ」や社内売店での「ふくしま応援物産展」の開催、社員食堂での福島県産食材を活用した「ふくしま応援ランチ」の提供等を実施。さらに「ふくしまファンクラブ」「ふくしままっぷ友の会」への社員の参加登録を促進。	企画調整課、広報課、東京事務所、	日本電気株式会社(NEC)
9	(5)その他、地域の活性化等に関すること	「ふくしま追悼復興祈念行事」の周知	令和7年3月24日まで	ふくしま追悼復興祈念行事のポスター・チラシ掲出による周知協力。	企画調整課	日本電気株式会社(NEC)